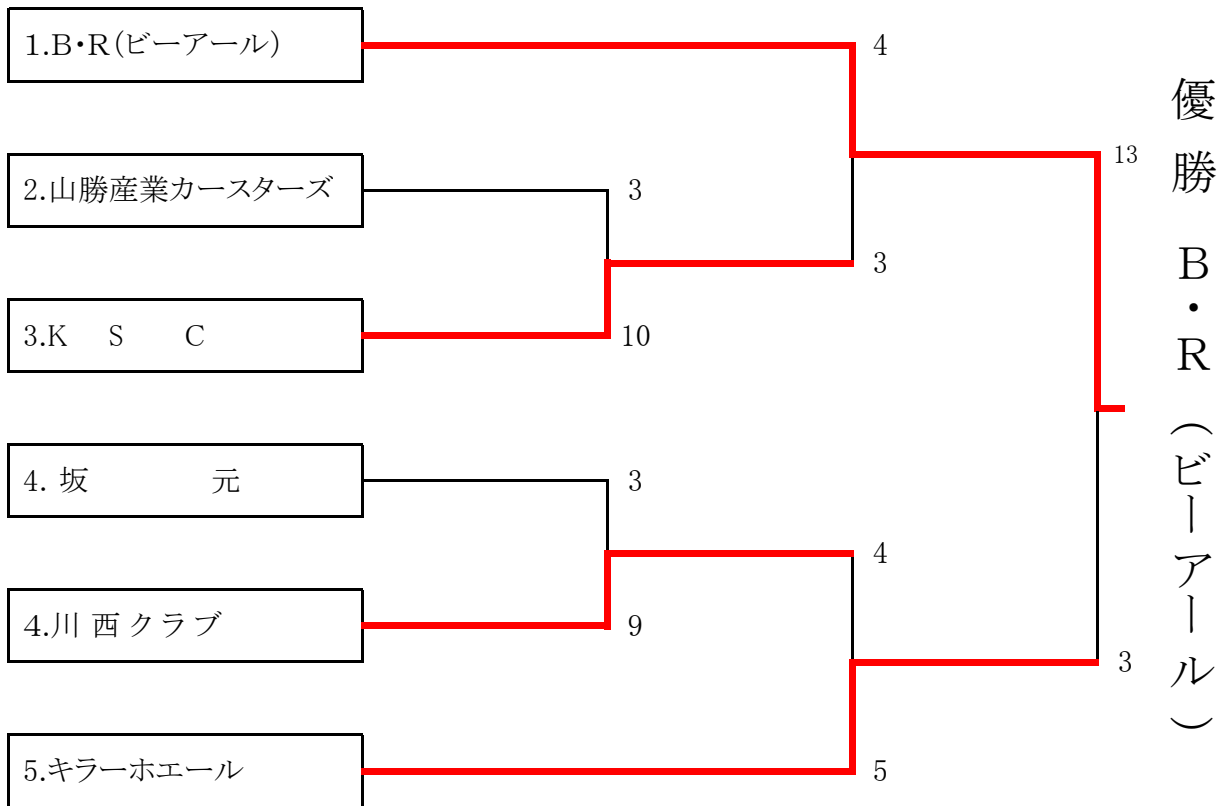


第64回 県議長杯・県都市対抗ソフトボール大会 加古川予選

令和4年6月26日(日)
加古川両荘河川敷グラウンド

優勝 B・R(ビーアール)
準優勝 キラーホエール
三位 K S C
三位 川西クラブ



1回戦	山勝産業カースターズ	2	0	1	0	時間切れ	3	藤原光洋－糟谷翔希	
	K S C	0	4	5	1		10	中井祐希－志野木智和	
1回戦	坂元	2	0	0	0	1	時間切れ	3	川島正敬－川嶋英敬
	川西クラブ	1	5	0	3	×		9	難波健太・黍原涼介－森孔明
準決勝	K S C	0	0	1	0	2	時間切れ	3	中井祐希－志野木智和
	B・R(ビーアール)	0	0	4	0	×		4	神子島 健・山口敦生－三木希介
準決勝	キラーホエール	0	1	0	1	2	時間切れ	5	山内飛鳥－宮元大晴
	川西クラブ	1	0	0	0	1		2	4
決勝	キラーホエール	1	0	0	2	4回コールド	3	山内飛鳥－宮元大晴	
	B・R(ビーアール)	0	0	7	6		×	13	神子島 健－三木希介

令和4年度 第64回 県議長杯都市対抗加古川予選

(準決勝)① 試合時間1時間34分 試合日 令和4年6月28日 試合番号 3

審判員(球審) 中本弥寿彦 (1塁) 高橋和義 (2塁) (3塁) 藤本勝芳
 (副審) 石井栄二 (記録) 中本佐織 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
K S C	0	0	1	0	2			時間切れ							3
B・R(ビーアール)	0	0	4	0	×										4

先 投手 中井祐希 捕手 志野木智和 <hr/> 本塁打 <hr/> 攻 三塁打 <hr/> 二塁打	後 投手 神子島 健・山口敦生 捕手 三木希介 <hr/> 本塁打 三木希介 <hr/> 攻 三塁打 <hr/> 二塁打 山口敦生
--	---

(準決勝)② 試合時間1時間39分 試合日 令和4年6月28日 試合番号 4

審判員(球審) 中條勝彦 (1塁) 藤原道行 (2塁) (3塁) 中尾文明
 (副審) 山卯泰久 (記録) 高橋和義 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
キラーホエール	0	1	0	1	2	1		時間切れ							5
川西クラブ	1	0	0	0	1	2									4

先 投手 山内飛鳥 捕手 宮元大晴 <hr/> 本塁打 <hr/> 攻 三塁打 <hr/> 二塁打	後 投手 難波健太・黍原涼介 捕手 森 孔明 <hr/> 本塁打 黍原涼介 <hr/> 攻 三塁打 <hr/> 二塁打 井上 一
---	--

(決勝) 試合時間1時間20分 試合日 令和4年6月28日 試合番号 5

審判員(球審) 高橋和義 (1塁) 中本弥寿彦 (2塁) (3塁) 中條勝彦
 (副審) 藤本勝芳 (記録) 中本佐織 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
キラーホエール	1	0	0	2				4回コールド							3
B・R(ビーアール)	0	0	7	6	×										13

先 投手 山内飛鳥 捕手 宮元大晴 <hr/> 本塁打 宮本力志 <hr/> 攻 三塁打 <hr/> 二塁打 宮元大晴	後 投手 神子島 健 捕手 三木希介 <hr/> 本塁打 山口敦生・奥野浩平 <hr/> 攻 三塁打 <hr/> 二塁打 山口敦生
---	---

令和4年度 第64回 県議長杯・県都市対抗加古川予選

試合日	2022年6月28日	第一日目	決勝	球場名	加古川河川敷グラウンド	第5試合	
試合開始	13時16分	試合終了	14時36分	試合時間	1時間33分	中断時間	時分
(球審)	高橋和義	(一塁)	中本弥寿彦	(二塁)		(三塁)	藤本勝芳
(副審)	中條勝彦	記録	中本佐織	記録補助	坂尻末吉	放送員	

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
キラールホエール	1	0	0	2				4回コールド							3
BR(ビーアール)	0	0	7	6×											13

チーム名	投手	捕手
キラールホエール	山内飛鳥	宮元大晴
BR(ビーアール)	神子島 健	三木希介

勝利・敗戦投手	チーム名	打者	安打	犠打	四球	死球	三振	盗塁	失策	
勝	神子島 健	キラールホエール	16	4	0	2	0	4	1	0
負	山内飛鳥	BR(ビーアール)	22	15	1	8	0	1	0	0

チーム名	長打(本塁打・三塁打・二塁打)
キラールホエール	(本塁打)宮本力志(二塁打)宮元大晴
BR(ビーアール)	(本塁打)山口敦生・奥野浩平(二塁打)山口敦生

(戦評) B・R(ビーアール)圧勝

試合は1回の表キラールホエールは無死からヒットの走者をパスボールとワイルドピッチで三塁に進め宮元選手の二塁打で1点を先行した。B・Rも3回の裏四球から長短6本と4四球を絡めて一挙に7点を挙げ試合を決定づけた。キラールホエールも4回の表2点を返したが、4回の裏BRは日本の本塁打と三塁打ヒットを集めて6点を挙げコールド勝ちを収めた。